

今日日は六日だ、露の大兵北韓に入るよし、号外が来た、君の「何の異人」

か来た、僕も端を出した、二時間待の後又君のはがきが来た、

ソレで僕も又此はがきを出す、西遊日抄の次を辨らんと考へてゐる

と手紙かくる人かくる号外かくる、この澤太から件々二行短か

はかとりぬ、僕の新体活に教馬いたと、教馬くふとはあつたま、僕も遠

かり心掛きあつた、心の花を新編満をやつた次から考へあつたのだ、併

し宜はと云ふと坪内の魏澤一太英活詩釋と云ふのを借添し

て急に興が湧いた澤太か、大毒癖のり、二三らるの日本に一すと

この十筆か書いてあつたソレで思いつた、君からは何しやういた覚

はあ、よ、い、ま、く、け、ら、早、速、や、る、し、た、僕が二行教馬サレをい用心

か所要だを、ア、レ、は、活、編、は、ま、た、作、ら、ぬ、馬、解、木、か、た、ひ、た、め、考

てゐるまか、あ、ま、な、か、い、ま、く、し、た、色、を、英、詩、を、と、思、ふ、と、近、ら、あ、い、よ